

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 3月号

令和8年3月2日(月)



048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』

- ◆たしかな学力
- ◆ゆたかな心情
- ◆たくましい身体

梅一輪 一輪ほどの 暖かさ (服部嵐雪)

校長 廣江 剛

氷川の杜にも春の足音が確実に近づいてまいりました。2月は、1年生が上野・東京校外学習、2年生が館岩自然の教室、3年生が公立高校入試を終え、学校としては、1年間の締めくくりと来年度への準備の段階に入りました。そして、3月13日には、学校にとって最も大切な行事である卒業証書授与式を挙ります。3年生と毎日会えるのもあと僅かです。

2年生の館岩自然の教室は、教頭先生に引率をしてもらいましたが、ときは協力するというメリハリが素晴らしく、大変力のある生徒たち。てからの2年生をみていると、館岩に行く前よりも少したくましくなった表情をしているように感じます。実際、2学期よりも学習や学校生活を頑張っている生徒がたくさんいます。この春、3年生が卒業すると、いよいよ最高学年として北中を引っ張っていくことになる2年生、ますますの活躍を期待しています。

さて、先日、第3回学校運営協議会を開催し、本校の1年間の教育活動を振り返り、学校運営について御意見を頂戴しました。委員の皆様におかれましては、1年間、陰に日向にと本校の教育活動を支えていただき、誠にありがとうございました。この会にて御承認いただいたところですが、来年度本校の学校運営について、大きく変更したいことが、2点ありますのでお知らせします。

1 生徒の登校時刻を10分早め、朝清掃を復活させ、最終下校時刻を15分早めます。

本校の部活動が全て終了し、生徒が校門を出る最終下校時刻は、夏季18時15分、冬季17時30分となっています。実は、私と教頭先生は、この最終下校を校門で見送り、「今日も無事に生徒を家庭にお返しすることができた」という余韻にふけることを至福の時間としています。その中で夏季によく聞かれた言葉が、「まずい、塾に遅れちゃう」でした。また、冬季は誰の顔も見分けられないほど真っ暗で、帰路の安全を心配していました。そして、本校はもともと朝清掃を行ってから綺麗な環境で授業を始めることを日課としていましたが、コロナ禍において朝の健康観察等に多くの時間を要するために、清掃を午後に移した経緯がありました。午後の清掃だと出張の先生方が多く、清掃監督が不足するという弊害がありました。これらの問題を解決するために、来年度は上記のように日課を変更させていただきます。御家庭におきましては、これまでより10分早く送り出すという御負担をおかけしますが、何とぞ御理解と御協力をお願いいたします。

2 学校からのお手紙の電子化を一層促進します。

多くの家庭が頭を抱えている「学校からのお手紙が保護者の手に渡らない」という問題を解決するため、今後は、学校から保護者へのお便りのほとんどを本校のPTAが運用している「がくぷり」アプリを通じて配信させていただきます。これについては一長一短あることは承知していますが、資源の節約、紙代の節約によるメリットも多く、近隣小学校の動向も確認し、更に前進すべきと判断しました。各家庭におかれましては、「がくぷり」への登録と、既読率の向上、保護者と生徒間の情報の共有に努めていただきますようお願いいたします。

以上2点について、学年保護者会でより詳細にお伝えさせていただきますのでよろしくようお願いいたします。

